

# 1. 「芝居」の公演を通して同世代の高齢者の皆さんの問題を解決

グループ名 くしろ高齢者劇団  
代表者 佐藤 伸邦

## ① 活動の目的

- ・地域の高齢者が互いに寄り添える《場》作りとし『芝居』の公演を行っています。
- ・地域の高齢者が抱える課題や問題を解決する手立てを「平易で分かりやすい芝居」を通して高齢者の皆さんと共に探っていきます。
- ・地域の活性化のためにボランティアで『芝居』の公演を行っています。

## ② 活動概要

- ・平成23年以来、高齢者に「笑いと元気を！」を届けることを目標に活動を続けております私共「くしろ高齢者劇団」は、今回、オリジナルの芝居「アカシヤの花が咲いていました」(35分)の公演を通し『嫁と姑のあり方』について地域の皆さんと考える機会(「本公演」と「出前公演」)を実施しました。

◇ここ数年の活動実績◇

- ・特殊詐欺被害から身を守る タイトル「ばあやん一生のお願いだから」(35分)
- ・認知症を予防する生活習慣について タイトル「かあさん！昼ごはんたべたかな？」(35分)
- ・高齢お一人さまの見守りと助け合いについて タイトル「向こう三軒両隣 みな 高齢お一人様」(35分)

<実施時期と参加者数>

※「本公演」は、『道立釧路芸術館』で平成31年3月9日(土)に実施しました。

◎午前、午後 2回公演。入場料無料。

開演 1回目公演 11時から。2回目公演 14時から。

- ・参加数 1回目公演 120名。2回目公演 155名。計 275名。
- ・観劇後の感想アンケートも参加いただいた方の7割が記入いただき皆さんの関心度の高さを感じ感動しております。

『毎年欠かさず見に来ますが、今回も舞台の皆さんの元気に、私も元気をもらいました』  
『芝居の内容が分かり分りやすく役に立ちました。これからも皆さんで頑張ってください』  
『次の作品が楽しみです。また見に来ます』と概ね好評でした。

- ・今回の「本公演」では、アイヌ民族の伝統楽器「トンコリ」(25分)の演奏を来場の皆さんに楽しんでいただく企画を加えました。

普段聞くことのない楽器の音色が皆様に好評でした。

出演協力 「チュプカトンコリ愛好会」

※「出前公演」

◎地域の高齢者施設や病院等へ出向いて公演をする「出前公演」をボランティアで4回実施しました。

- ・平成31年2月 5日 「釧路北園啓生園」・・・入所の方 60名参加。
- ・平成31年2月13日 「ほがら館」・・・地域の皆さん 40名参加。
- ・平成31年3月 3日 「ときわ台ヒルズ」・・・入所の方 地域の方70名参加。
- ・平成31年3月 7日 「杉元内科医院」・・・地域の方 99名参加。

⇒「出前公演」の参加者 総数 269名。

:「本公演」「出前公演」通算で544名の方々に、芝居「アカシヤの花が咲いていました」を見ていただき、感動と共感呼びました。

△この芝居の「出前公演」は、次年度(2019年度)4月以降6月までも継続して実施(公演予定=高齢者施設で3回)を予定。多くの皆さまのお役に立てる活動を継続してまいります。

決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
	麒麟福祉財団助成金	200,000円
	冠婚葬祭文化財団助成金	100,000円
	計	400,000円
支 出		
	賃貸料（ホール借館）	41,440円
	ガソリン代（移動・連絡交通費）	37,082円
	役務費（郵送料）82円切手 190枚、他	15,700円
	消耗品費 インク代・コピー用紙代 他	67,438円
	広報印刷費 チラシ 2000枚 他	95,000円
	委託費（舞台制作、音響、照明）	115,000円
	謝金（運営協力礼 等）	23,760円
	電話代（連絡、依頼 他）	4,580円
	合 計	計 400,000円



会場の皆様と♪幸せなら手をたたこう！（平成31年3月9日・本公演）



アイヌ民族の伝統楽器「トンコリ」の演奏も共演してくれました（3月9日日本公演）



頑固で意固地なお姑さんでした・・・（3月9日・本公演）



嫁・姑が仲良く・・・話が弾むようになりました（3月9日・本公演）



平成31年3月3日 ときわ台ヒルズでの「出前公演」